



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で
うつ病と診断された方、特に疾患がない方

【研究課題名】

ヒト脳及び疾患特異的iPS細胞/由来神経系細胞におけるエピジェネティクス/トランスクリプトーム/
タンパク質解析

【研究責任者】

岡野 栄之(慶應義塾大学)

【本研究の目的及び意義】

慶應義塾大学医学部生理学教室において作製した疾患特異的iPS細胞やそこから誘導した神経系細胞の性質（病態）を、健常および病気の方の体液試料および死後脳組織を用いて、分子生物学的、病理学的解析を行うことで、神経疾患の病態を明らかにする。

【本研究に提供する試料・情報】

血液（血漿）、髄液
性別、年齢、診断名

【研究期間】

2022年1月13日から2029年3月31日まで

【試料・情報等扱う機関】

がん研究会

本研究で提供したうつ病の髄液の一部を次頁の研究に利用する

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail : biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2013年9月17日から2019年7月25日にご同意いただいた方で
うつ病と診断された方

【研究課題名】

脊髄損傷における急性期に回復の程度を反映するエクソソームバイオマーカーの検索

【研究責任者】

名越慈人(慶應義塾大学・整形外科)

【本研究の目的及び意義】

本研究では、脊髄損傷患者と対照者から採取した血液・髄液中のエクソソーム（細胞が放出する細胞外小胞）からmiRNA（分子の量を制御する小さいRNAで多数の種類がある）、RNA、蛋白質を抽出・分析し、回復の程度を予測するための新たなバイオマーカー（疾患の目印）として利用できないか検討することを目的とします。

今回、対照者髄液検体に関しては「ヒト脳及び疾患特異的iPS細胞/由来神経系細胞におけるエピジェネティクス/トランスクリプトーム/タンパク質解析」研究で提供された脳脊髄液を使用します。

【本研究に提供する試料・情報】

髄液

性別・年齢・診断名

提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

【研究期間】

研究開始日～2029年2月21日

【提供を開始する予定日】

2024年7月頃を予定しています。

【試料・情報等扱う機関】

タカラバイオ

総合せき損センター、北海道せき損センター、村山医療センター

クリングルファーマ株式会社

新日本科学

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)